

2025 年度
第 17 回 CSP 認証基準委員会
議事録

- 日時 令和 7 年 12 月 8 日（月）15:00～17:00
- 場所 オンライン
- 議題
1. 国際規格関連状況の共有及び対応方針検討
 2. HSM 操作体験会企画追加回についての検討
 3. 総務省ガイドライン改定案検討
 4. 今後の対策
 - 新規案件対策
 - 普及啓蒙策（セミナー中心）
 5. 共有事項

■出席者（順不同）

委員長：税所達朗氏（さくらインターネット㈱）[運営実行委員会委員長]
委員：坂本哲也氏（㈱ウルトラエックス）
：岡部淳一氏（ISACA 東京支部 会長 兼 理事）
：吉川大亮氏（キヤノン IT ソリューションズ㈱）
：井谷 寛氏（ネットアップ合同会社）
：村上輝暁氏（P マーク審査員/ISMS 審査員補）
オブザーバ：下垣内太氏（アイフォレンセ日本データ復旧研究所㈱）

■欠席者（順不同）

委員：神沢剛史氏（ネットアップ合同会社）
：大泰司章氏（（一財）日本情報経済社会推進協会）
：福島孝之氏（株式会社ピーエスシー）
オブザーバ：神田雅透氏（独立行政法人情報処理推進機構）

■事務局：鈴木啓紹、林竜也

0. 議事録案確認

○振り返りを兼ねて参加委員全員で確認を行い、委員長承認で議事録が確定された。

1. 国際規格関連状況の共有及び対応方針検討

○SIS-WG 状況共有

- ・ IEEE2883.2 の有効期限：2027/12

PAR Request Date: 09 Dec 2022

PAR Approval Date: 15 Feb 2023

PAR Expiration Date: 31 Dec 2027

- ・ チェックリストの提案状況確認
Draft 版にてチェックリスト掲載を確認
Draft 版をベースに委員会内で記載内容の確認を行う方針とした。
- ・ CSC/CSP/CSU の定義に関する議論では ISO/IEC22123-3 を参照しつつ影響範囲を確認した。

■承認事項

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ チェックリストの提案状況について再確認を行い、現 Draft 版に対する簡易翻訳を作成し記載内容について、運用に関する記載をチェックする方針とした。・ 簡易翻訳の作成は村上委員が担当する。・ NIST-SP800-130 及び SP800-57 の運用に関する記載についても確認を行う。・ 2883.2 の最新状況について参加メンバーの下垣内氏より共有を行うようにする。 |
|--|

2. HSM 操作体験会企画追加回についての検討

○開催概要

- ・ 日時： 月 日 () 15 時～18 時、ハイブリッド開催
- ・ 場所： 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-7 赤坂溜池タワー8F
- ・ プログラム構成
 - 1, 物理 CM また内蔵されている HSM を準備してハードウェア周りの特性を説明
 - 2, 物理 CM での 2 要素認証操作デモ
 - 3, 仮想 CM+CCKM で BYOK デモ
 - 4, 仮想 CM+CCKM で HYOK 説明
 - 5, 仮想 CM+CTE で BYOE デモ
- ・ 当日は録画を行い、参加できない関係者への情報共有を行う。

<第 15 回議事録より>

- ・ タレス DIS ジャパンに Google、AWS、Azure、Oracle にみるメガベンダの暗号化消去の構成パターンの調査やインシデント事例（ランサムウェアを断ち切るような）収集について協力を依頼する。
- ・ 第 2 回の体験会企画は、実サーバでのマルチテナント環境の構築などもアジェンダとして検討を行い、判定委員への招待も行う方針とした。

<第 16 回議事録より>

- ・ 改めて、Google、AWS、Azure、Oracle の暗号化消去の実装パターンの調査を依頼したい点が意見に挙げられた。
- ・ Google や AWS 等の実装パターンに基づく、実サーバでのマルチテナント環境の構築と実際の暗号化消去運用を要望として検討する。

■承認事項

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 第 2 回の開催スケジュールについて検討が行われ、判定委員会の満塩先生の対応可能な候補スケジュールを中心にスケジュール調整を行う方針とした。・ 判定委員会の先生の他スケジュールについても確認を行う。 |
|--|

3. 総務省ガイドライン対応

- ・ 総務省に対して委員会で作成した素案を提出してきました。(11/4)
- ・ 資料 2 に示された内容をベースに暗号化消去に対する修正事項を検討
- ・ 総務省公開資料のレビュー

- ・各委員会の意見は事務局に集約し、委員会で検討を行う。

■承認事項

- ・本件は、担当者による継続検討とした。

4. 今後の対策

○新規案件対策

- ・Google 社へのアプローチ状況

IEEE への提案が通った後なら米国本国に対して有効な説明ができている。

→認証取得の説得が可能になると考えられる。

→福島氏へ依頼、説明者として税所委員長、吉川氏の協力が求められ承認がなされた。

<進捗状況確認>

■承認事項

- ・本件は、担当者による継続検討とした。

- ・地方自治体向け SI 企業への認証紹介

<第 13 回議事録より>

-J-LIS (10/8、10/9) フェアでの誘致実施の結果概要について大泰司氏、吉川氏から報告がなされた。

-紹介用の説明資料に基づく説明により、内田洋行社が興味も持った点が共有された。引き続き、日本電子計算や RKKCS などにも誘致を行う方針とした。

(課題点：SIer 側には暗号化消去機能実装が、ベンダ側の一方的な負担作業と捉えている認識がある)

-また、J-LIS や KIIS 等の団体に対して啓蒙を行うことを方針として組み込む。

-新規案件の対象となる業界について検討を行い、金融/証券/保険やモバイル決済系などの情報そのものに価値のある業界が対象業界として適当とした。

■承認事項

- ・本件は、担当者による継続検討とした。

○普及啓蒙策 (セミナー中心)

- ・日程

第 1 回

2025 年 12 月 18 日 (木) 16:00-18:00、SAJ 会議室、ウェビナー

各講演のタイトル確定

HP 公開 (11/14) : <https://adec-cert.jp/news/2025/133874/>

参加登録 : 26 社 35 名 (12/7 現在)

→SAJ 会員企業へ展開

第 2 回

2026 年 3 月 18 日 (水) 16:00-18:00、SAJ 会議室、ウェビナー/ハイブリッド検討

- ・クラウド運用失敗事例 (暗号化によるデータ保全/データ消去実施)

地方公共団体を中心にセキュリティインシデントを調査

■承認事項

- ・第 1 回セミナーの開催にともなう運用について検討を行い、以下が確定した。
- ・セミナー終了後にアンケートを実施する。アンケート項目は吉川委員が素案作成し委員間でレビューの上、事務局にてフォーム化する方針とした。
- ・アンケートの回答にはメールアドレス登録に対して講演資料配布を行う方針とした。
- ・配布資料は全員分を事務局に集め、1 ファイルで当日投影を行う。
- ・司会は事務局が担当する。
- ・質疑応答が出ない時のために、ダミー質問を 2 問程度事務局にて準備する。

4. 各種ガイドライン改定案検討

○ガイドライン候補について

<第 13 回議事録より>

- ・他、金融情報センターが発行するガイドラインや PCIDSS 関連の規定類に「暗号化消去」について盛り込むことを検討する。

■承認事項

- | |
|---------------------|
| ・本件は、担当者による継続検討とした。 |
|---------------------|

5. 共有事項

○次回以降スケジュール調整（1 月以降）を実施し、以下が確定した。

- ・12 月 19 日（金）16:00-18:00
- ・1 月 6 日（火）16:00-18:00
- ・1 月 19 日（月）16:00-18:00